



「経済と地域社会の発展」月間

## 10月 第1例会 於: 水戸三の丸ホテル H28年10月6日

- 1.点鐘
- 1.君が代・ロータリーソング
- 1.ゲスト紹介
- 1.ビジター紹介
- 1.会長の時間
- 1.出席報告
- 1.にっこBOX報告

- 1.委員会報告
- 1.幹事報告
- 1.卓話  
会員5分間スピーチ
- 1.ロータリーソング
- 1.点鐘

## 9月 第1例会 於: 水戸三の丸ホテル H28年9月1日

### 会長の時間

去年の正月に、iPS細胞でノーベル賞を受賞した山中教授のトーク番組をみました。そこで、「VW」が大事だ、ということをお話していて、VWとはフォルクスワーゲンではなく、Vision & Work hardという意味です。研究者としても、人間としても、成功するにはビジョンとハードワークの両方が必要で、どちらかが欠けてもダメだ、ということでした。

職場では組織のリーダーをしていて、このビジョンを作ること、つまりビジョンという組織がめざす目的を具体的に絵にかくようにデザインして働くスタッフに理解してもらう、ということが自分の仕事だと思えるようになりました。

さて、山中教授はマラソンもするそうです。2012年には京都マラソンに参加するのに、iPS細胞研究基金に寄付を募り、1ヶ月で1000万円以上の寄附が集まったということです。2014年にも神戸マラソンを走って、2015年の京都マラソンでは3時間57分でフルマラソンを走りました。1キロ5分半くらいのペースで走ることで干波湖1周16分台です。けっこうなスピードです。

私も10月末の水戸マラソンで、人生初のフルマラソン挑戦をめざして練習しています。友人たちから、何が楽しくて走るの？と聞かれるのですが、多分走ることが中毒のようになっているんだと思います。走ると非常に気分がよくなります。先週は19キロ走ったら、走ったときは気分がいいのですが、翌日、体が疲れると同時に気分が落ち込むんです。家族から、迷惑だからやめろと言われていています…。

出席報告	例会日付	会員総数	出席数	出席率
	第1例会9月1日(木)	12人	8人	66.66%

### 卓話

クラブ協議会(上半期事業計画)

## 9月 第2例会 於: 水戸京成ホテル H28年9月27日

### 水戸6RC合同例会

出席報告	例会日付	会員総数	出席数	出席率
	第4例会9月27日(木)	12人	9人	75.00%

### 幹事報告

- 1 理事会報告
  - (1)10月例会プログラム
  - (2)青少年長期交換プログラム学生の推薦について
  - (3)その他
- 2 10月のロータリーレート 1ドル102円
- 3 水戸市内RCの例会変更のお知らせ

## 「2100年の天気予報—温暖化最新情報と対策—」気象予報士 依田司氏

去年は観測史上一番暑い1年になったということです。地球の温度が長い目で見て緩やかに上がり続けているのです。130年で0.8度ほど。これが最新のデータです。ということでこのまま地球温暖化が進んで緩やかに気温が上がっていくと、2100年はどんな日本になるのか、未来の天気予報を皆さんにお伝えしたいと思います。

「まず今日も各地厳しい暑さになりました。今年は記録的な暑さが各地で続いており、今日の観測最高気温茨城県水戸市で42.5度、大阪で43度、東京で43.6度いずれも今シーズン一番の厳しい暑さになりました。全国で12万人の方が熱中症で病院に運ばれています。さらに30度以上の真夏日の日数が記録的に多くなっています。沖縄の那覇でおよそ183日、そして水戸では91日、そして北海道札幌でも47日開30度以上の真夏日が続いています。これは過去の2016年と比べると2倍に増えています。

明日の天気予報をお伝えします。明日も全国的に勢力の強い高気圧に覆われ、北海道から九州沖縄まで強い日差しが照りつけそうです。最高気温は愛知県名古屋市が44度、そして水戸市や大阪、新潟などが43度、そして東北仙台が42度、札幌が41度の予想になっています。くれぐれも熱中症にはお気を付けください。特に関東地方では雨が降らず農作物に大きな被害が出るという状況になっています。一方ゲリラ雷雨が多発し、川の氾濫、がけ崩れなどが多数発生しております。大雨の降るところ降らないところ両極端なのがこの2100年の天気の特徴です。最後に台風情報をお伝えします。現在日本の南の海上にある台風10号、中心の気圧が895hPa、最大風速が65メートル、最大瞬間風速が90メートル、アメリカのスーパータイフーンなみになっています。明日には東日本明後日には北日本を通過する予定です。この台風、しっかりと中心付近に目がみえています。勢力を落とさずに日本列島に上陸し、これまでに経験したことのない大雨、暴風、高波、高潮の被害が発生する恐れがあります。最悪級の警戒をお願いいたします。以上2100年未来の天気予報でした。」

軒並み40度を超える世界が差し迫っています。スーパーコンピュータを使い過去から未来2100年にかけて地球の温度がどう変化するかをみると、特に温度が上がるのが今氷で覆われているところです。これが溶けると地肌があらわになり一層熱を吸収しやすく温度上昇が予想されます。厳しい温暖化対策をとった場合と現状以上の温暖化対策を取らなかった場合の2つのシミュレーション結果が出ています。厳しい温暖化対策をとると2100年までの地球の温度の上昇は約1度におさえられるとみられ、何もしない場合は約4度上がると言われていました。この130年で0.8度ほど地球の気温が上がりましたが、何もしないと100年足らずで4度くらい上がる可能性があり、当然異常気象が増え、雨の降らないところが出てきます、農作物も取れる時期が変わり北の方にシフトし、食糧不足もおきます。

今世界のコンセンサスは、今から比べて1度超えたらではなくて1度以内に地球の温度の上昇を抑えなくてはならないということなのです。地球温暖化の主な原因は二酸化炭素です。この瞬間に地球上の二酸化炭素の排出量をゼロにしても2050年までに地球の温度は1度上がり続けます。今どうしたらいいのか、緩和と適応の二本柱でいうところです。緩和は二酸化炭素を減らして地球の温暖化自体を緩やかにする方法、適応は2050年までは地球の温度は上がり続けてしまうので、我々がやらなければならないということで、まず減らす、簡単な話ですね、省エネを心掛ける、家庭の話になるところが多いのですが、冷蔵庫に詰めすぎない、開けっ放しにしない、使っていない電気を消す、テレビを消す、簡単なことですが全地球上の方々が実践することによって大きなエネルギーの節約になり、二酸化炭素の排出を少なくすることができます。交通手段も車で行っていたところを歩いて行ったり、自転車で行ったりなるべくエネルギーを使わない、一方で自動車メーカーは二酸化炭素があまり出さない車づくりを必死にやっています、中には燃料電池車も二酸化炭素が出ないよう開発しているところです。森林を増やす、森林を健全にする。国土の66%が森林ですが、日本の森林は手付かずで人の手が入っていません。人の手が入らない森林は二酸化炭素をあまり吸収してくれない暗い森になります。手を加えて間伐をし、光が差し込む森にすることでたくさんの二酸化炭素を吸ってくれるのです。それから太陽光発電、風力発電、水力発電、波力発電、いろいろありますが、電気も自由化になりました。皆さんがお使いの電気、何が由来の電気なのかと考えていただくのもいいかもしれません。皆さんが電気を選べる時代になっています。もう一つ、切り札的な存在で、CCSという技術があります。CO2隔離技術ですが、発電所が大量に放出している二酸化炭素を大気中に放出する前にすべてつかまえて隔離してきれいな空気と二酸化炭素に分け二酸化炭素を地中深くに埋めてしまう技術です。この技術がこの先、切り札になると言われています。全世界的に今プロジェクトが行われています。

次回例会は、10/20(木) 19:00~  
於:水戸三の丸ホテル  
卓話:クラブフォーラム「ガバナー公式訪問」

例会を欠席される会員は、日曜日迄にご連絡下さい。

【連絡先】出席委員会(木村美枝子委員長)

水戸好文RC事務局  
〒310-0011 水戸市三の丸2丁目1-1  
(水戸三の丸ホテル内)  
TEL 029-221-3011 FAX 029-221-3022

例会場 三の丸ホテル 例会日 第1・3木曜日 19:00~  
会長 藤澤 利枝 幹事 森田 冴子  
発行 クラブ広報委員会 井坂 陽子委員長

